

～音楽を愛する想いが繋ぐ～ 北九州市民と学生ボランティア

アコルデ <北九州の音楽文化を支える会>

(2017年10月19日 広報活動の参加者)

<アコルデ> 奥村和子 有中妙子 岩崎篤子 谷口波子 中村裕巳
<北九州大学 地域共生教育センター> SNS広報資料作成 - 佐藤樹 出雲有紗 辻杏

● 私のボランティア活動についての心得 <アコルデ代表 清原雅彦>

1. ボランティア は愉しむこと・・・仲間との人間関係 現実的利益 精神的満足
2. 信念 を持つこと・・・・・・気持ち 意義 生き方 音楽への思い
3. 自分の生活が確立 していること・・自己の向上 ころ豊かな人生 愉しむ

● 北九州市での音楽ボランティアの始まり 1988年

今年30回の北九州国際音楽祭における音楽ボランティア活動

- ・ホール会場 (受付・会場・ドア・楽屋・グッズCD販売)
- ・楽屋(演奏家への対応・・・飲物、当日のスケジュール案内などを英語で)
- ・おもてなし・・・国際交流、海外からの来日演奏家、家族、海外からの訪北九州来場者
- ・音楽祭グッズ作成、販売

● 音楽祭が始まって数年後に北九州大学の「ピアノ会」を訪問し、参加募集を始める。 チラシ、ポスター持参 以後毎年ピアノ会を訪問し、交流も始まる(ピアノ会の発表会参加)

その他の大学との交流と活動参加

- ・九州工業大学、九州国際大学、西南学院大学、東筑紫短期大学、九州女子大学、専門学校も参加
- ・九州国際大学での募集(大学の授業に参加)、九州工業大学(各サークル訪問)
- ・オペラ「アイダ」「蝶々夫人」等の大ホール会場でのボランティア活動
- ・コンサート会場での活動中の学生との交流

● 今後のSNS、ホームページ等のネット広報活動について

北九州大学地域共生教育センター(通称 421ラボ)訪問 10月19日(木)10:40～12:00

- ・SNS広報担当学生3人(佐藤、出雲、辻)とアコルデ5人との交流 意見交換

担当内容を作成・・・報告・・・28日にラインでPDFに送る・・・確認後・・・資料作成

大学祭の為11月4日参加は出来ない

この項目は29日に学生作成の資料を載せます

3人の学生さんがアコルデの資料に基づきSNS広報を作成発信の活動参加して下さるとのことです

● これからの活動の展望

- ・(規約)アコルデの目的

「北九州のクラシック音楽を中心とした音楽祭を支援し、そのことを通じて

クラシック音楽を中心とした音楽文化を普及させ、市民文化の発展に寄与する」

- ・街の時代の流れに沿った、ボランティアのあり方で、音楽を愉しみながら活動する

主催者と共に、コンサート会場での活動を行っていく

そのことで、人と人とのつながりを持ち、学び、一つの心の宝となっていく

次世代へ音楽ボランティア活動をつなぐ

SNSを用いた若者目線の若者による広報活動